

各位

海洋博公園管理センター

## グライダーのモデルとなった ハネフクベ（別名ヒョウタンカズラ） 国内初結実から2年連続結実！

海洋博公園 熱帯ドリームセンターでは、昨年国内初結実を記録したハネフクベ（別名ヒョウタンカズラ）が今年も5個結実しました。

結実した全ての実がすでに割れており、きれいに並ぶ種子を観察できます。

※結実した実1個は、標本として保存のため採取済み。

ハネフクベは翼がついた種子がグライダーのモデルになったことで有名な植物です。大型のつる植物で、大木などに巻き付き高い位置で開花し結実します。そのため、開花可能な高さを有し、雌雄株そろって植栽している施設が少ないため、国内で結実に成功したのは熱帯ドリームセンターだけです。

熟した果実の中には翼がついた種子が数百個あるとされています。高い位置で割れた果実から滑空していく、その姿はグライダーの形そのものです。

### ■ポイント■

- ・ 東南アジア等の熱帯雨林の密集した木の中で広い範囲に種子を飛ばすため、高い位置で開花させる必要がある。
- ・ 沖縄は熱帯雨林に近い温暖な環境にあり、また、熱帯ドリームセンターでは高い屋根のある温室を有しているため、開花させるには好条件である。
- ・ 令和元年（2019年）に、結実に向けた取り組みとして雌株を植栽し、令和4年に初開花、初結実を記録。2年連続となる今年も5個結実に成功した。
- ・ 熱帯ドリームセンター 果樹温室で植栽しています。

【ハネフクベ（ヒョウタンカズラ）】 《科名》ウリ科 《学名》*Alsomitra macrocarpa*

ハネフクベは、インドネシアやマレーシアが原産で雌雄異株のツル性植物です。原産地では他の木に絡みつき30mの高さまで這い上ります。生息範囲を広げるため、種子に翼をつけ、高い位置から種子を空中に放つことで遠くまで飛ばすという進化を遂げました。翼は世界最大といわれており、航空力学的にも優れた構造をしていることが分かっています。



5個結実した雌株



ハネフクベの種子



割れた果実の中の様子

＜お問い合わせ先＞

《植物について》 海洋博公園管理センター 熱帯ドリームセンター係（中川）

TEL 0980-48-3624 / FAX 0980-48-3785

《取材・資料貸出について》 海洋博公園管理センター イベント広報係

TEL 0980-48-2741 / FAX 0980-48-3339